

中学生も
読んでね

尾上庁舎の新しい活用方法をみんなで考えよう！

尾上

つぼにわ

第2号

レター



新しい尾上庁舎利活用コンセプトをお知らせします！



写真：尾上庁舎外観/各ワークショップと検討会議の様子

プロジェクトについて



令和4年10月に市役所新本庁舎が開庁したことに伴い、尾上庁舎の部署の多くが新本庁舎へ移動しました。尾上庁舎には尾上総合支所の窓口と生涯学習センターの機能が残りますが、その他の事務室や会議室などの空いたスペースをどのようにに活用するかが課題となっています。

市では、若手職員を中心とした庁内検討チームを組織し、令和元年度から弘前大学との共同研究事業として尾上庁舎の新たな利活用方法の検討を進めています。これまでに、先進地の視察や市民のニーズ調査などを行い「基本ポリシー」と「3つのコンセプト」案を策定しておりました。

令和4年度は市民参画によるワークショップなどを開催し(詳しくは裏面)、より具体的な利活用方法や運営方法について意見をいただきました。さらに、市民を交えた検討会議を重ね、これまでのコンセプト案を再考し、以下の尾上庁舎利活用コンセプトとしました。

新しい尾上庁舎はどうなるの？

尾上総合支所の窓口

- 住民票の写し交付
- 住所異動
- 課税証明書の発行
- etc...

生涯学習センター機能

- 図書館
- 会議室等の利用

+ α

尾上の未来を育てる複合施設に！

プロジェクトの流れ



尾上庁舎利活用コンセプト

新しい尾上庁舎は、子どもたちをはじめ、全ての世代が気軽に利用でき、そこに関わる人々によって創り育ててゆく場所となることを目指しています。これまでにいただいた多くの方々の意見・要望を踏まえ、右記の利活用コンセプトとしました。

想定している利活用の実現のため、尾上総合支所の窓口・図書館・生涯学習センターをベースに新しい機能を加え、利便性を向上し、時代に即した使われ方が可能な施設となるよう整備してまいります。また、さまざまな人々の交流により、地域の子どもたち、地域の魅力、地域の担い手を育て、長く愛され、使い続けられる場所になってほしいと考えています。

基本ポリシー 子ども、若者、子育て世代、働く世代、シニア世代など全ての世代が気軽に利用し、共存できる場所を創り育てる。

コンセプト 1

くらしに寄り添う、新しい図書館のカタチ

新しい「憩い・遊び・学び」の場所として、市民の暮らしを充実させる

- ・読書、勉強、体験、遊び、おしゃべり、休息など、誰もが思い思いに自由に過ごせる
- ・親子でも、一人でも、友達同士でも、気軽に立ち寄りそれぞれが居心地よく滞在できる

コンセプト 2

ひと・もの・ことが交差する、ワクワクの時間

様々なイベントやプログラムを通じて、来訪者に喜びや楽しみの機会を提供する

- ・食、遊び、学びに関するイベントやプログラムによって、人と地域が元気になる
- ・利用者から運営者まで、市内外のさまざまな人たちが垣根を越えて関わり合う
- ・自由度の高い、屋内外の空間や設備が楽しみ方の可能性を広げる

コンセプト 3

未来につなげる、チャレンジの場

行政・市民・民間事業者が協働し、未来の担い手と持続可能な場所を育てる

- ・民間事業者による新しいビジネスを応援し育てる(飲食/商品販売の場の提供)
- ・市民のニーズを市民がサポートするしくみをつくる(図書館/子育て事業のサポーター育成)
- ・持続可能な運営体制を構築し、次の世代へとつなぐ(維持管理コスト/環境への配慮)

ワークショップ

尾上図書館の未来をみんなで考えよう (全2回)

令和4年7月には図書館の利用者をはじめとする市民の皆様と、9月には尾上中学校の2年生の生徒と一緒に「尾上図書館の未来のあり方」を考えるワークショップを開催しました。話し合いで出された主な意見を紹介します。

●市民の意見 ●中学生の意見

足を運びたくなる図書館って？

環境

- ゆとりのある通路(車椅子、ベビーカー)
- 低めの書棚、疲れない椅子
- 集中できる自習スペース
- BGM
- スペースの機能に合った本の配置

環境

- 寝転びながら本が読める
- ソファ、ハンモック
- 畳、こたつでくつろげる
- BGM(好きな音楽)

本

- 平川市に関連する図書を充実させる(農業、造園、自然、史跡)
- 〇〇のおすすめコーナー(市長のおすすめなど)
- 蔵書のデジタル化、オンライン利用
- 図書通帳機の設置

本

- 漫画コーナー
- 電子書籍(タブレット貸出)

集中できる場とリラックスできる場をうまく分けたいね

思わず本を手に取りたくなる工夫が必要だね



どんな場所があったらいい？

飲食・ショップ

- カフェ、フードコート
- キッチンカー
- コンビニ
- 自販機コーナー
- 電子レンジ、ポット

飲食・ショップ

- カフェ、ファストフード
- 持ち込みできる飲食スペース
- ドリンクバー
- 文具店、お土産店、雑貨店
- ゲームセンター

その他

- レンタルスペース(撮影、オンライン会議、貸出用小部屋)
- ボードゲーム、カードゲームスペース
- トークルーム
- 子どもが本と一緒に遊べるスペース
- サークル室
- 人を引き込む屋外空間(芝生、テラス)

その他

- 塾、英会話教室
- スタジオ(音楽、ダンス)
- eスポーツルーム
- スポーツルーム
- 個室(1人用、数人用)
- 心地よい屋外空間(中庭、芝生、木陰、ベンチ)

レンタルスペース以外にも自由に使えるスペースがあるといいね



どんなイベントがあったらいい？

- 本のマルシェ
- フリーマーケット
- 図書館で学んだ知識を共有する場
- 市民が選ぶ“尾上図書館大賞”

- 本にまつわるモノづくり
- 音楽イベント
- いぬねこ譲渡会

自分たちの本もシェアできたら面白いね

充実してほしいサービスや設備は？

- 託児サービス
- ATMの設置
- VHS機器(貴重)
- 交通支援(弘南鉄道との連携)

- 開館時間の拡大
- コピー機
- Free Wi-Fi、電源
- 落書き掲示板

仕事終わりや放課後に使えたら夜も楽しいまちになりそうだね

ワークショップ

子どもや親子が集いたくなる場所をみんなで考えよう

令和5年2月に市内保育施設の保育士をはじめとする市民の皆様と一緒に「尾上庁舎が子どもや親子の集いの場になるには、何が必要か、私たちに何ができるか」を考えるワークショップを開催しました。話し合いで出された主な意見を紹介します。

どんな場所があったらいい？

飲食・ショップ

- 親子カフェ、フードコート
- バーベキューコーナー
- 離乳食が食べられる場所
- 子ども食堂
- ポップアップショップ
- チャレンジショップ

子どもの遊び場

- 知育玩具コーナー
- アスレチックコーナー(年齢ごと)
- 水場、芝生、丘

学びの場

- 平川市を知るコーナー
- 職業体験コーナー
- 習い事(学問、音楽、芸術)
- 宿題コーナー(学生ボランティアの見守り)

大人の遊び場

- 趣味仲間との活動場所
- ワークスペース

どんなイベントがあったらいい？

- 親子体操
- 親子DIY
- 親子クッキング
- 離乳食講座
- ダンス、音楽イベント
- マルシェ
- フリーマーケット

- 宵宮、夜市
- 街中キャンプ

世代や分野を越えてたくさんの人たちが子どもたちの成長に関わったら素敵だね

地域のみんで子育てを支え合うしくみをつくりたいね

充実してほしいサービスや設備は？

- 開館時間の拡大
- 託児サービス
- 子育てに関する情報を入手できる
- 子育てに関する相談ができる(相談員が常駐)

- 乳幼児専用コーナー(授乳、オムツ交換など)
- 子ども用トイレの設置
- 子どもを見守れる工夫
- 発達障害児や不登校児の居場所

どんな関わり方ができるだろう？

利用者になる

- 一般利用
- 保育施設での団体利用
- 口コミ、PR

運営への協力

- 保育士などのサポートスタッフ
- 経験・能力をいかした手伝い



今後の予定

令和5年度は、住民説明会の開催を皮切りに、いよいよプロポーザルによる調査・設計業務履行业務者の選定が行われます(スケジュールは右記)。また、コンセプトに沿った設計条件の設定、管理運営の手法と体制の検

討、飲食・物品販売等に携わる民間事業者の募集など利活用を円滑に開始するための準備を進めていきます。これまで同様、弘前大学と連携し、市民の皆様との協力をいただきながらプロジェクトを進めていきますので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

住民説明会、プロジェクトの進行状況についての情報は、市のホームページや広報紙等で随時お知らせしますので、ぜひご覧ください。

令和5年度の主な予定

- 令和5年度春頃 **住民説明会**
- 令和5年度夏頃 **プロポーザルにより調査・設計業務履行业務者を選定**
- 令和5年度秋頃~ **調査・設計**

編集後記

令和4年度は、市職員チームだけではなく市民の皆様を交え、検討会議を行いました。会議では、話し合いに加えて場づくりの実践者を講師として迎えた勉強会も行い、意見集約のためのヒントを得ました。

活用の方針を明確化すると同時に、解決すべき多くの課題が見えてきています。今後もプロジェクトを継続し、協力の輪を広げられるよう頑張りたいと思います。(古川)

尾上 つぼにわ レター 尾上庁舎利活用検討会議 広報紙【第2号】

- 発行：平川市役所総務部総務課行政係 弘前大学大学院地域社会研究科
- 編集：古川 浩之、土井 良浩
- デザイン：minimum
- お問い合わせ先：平川市役所総務部総務課行政係 平川市柏木町藤山25番地6(本庁舎3階) tel.0172-55-5739(直通)